

第10回PhDリクルートフォーラム開催報告

2025年9月18日（木）PhDリクルート室



開催日 : 2025年9月18日 (木) 10:15~19:00

開催場所 : アートホテル新潟駅前

参加博士学生 : 24名

新潟大学 20名

富山大学 3名

愛媛大学 1名

参加企業 : 13社

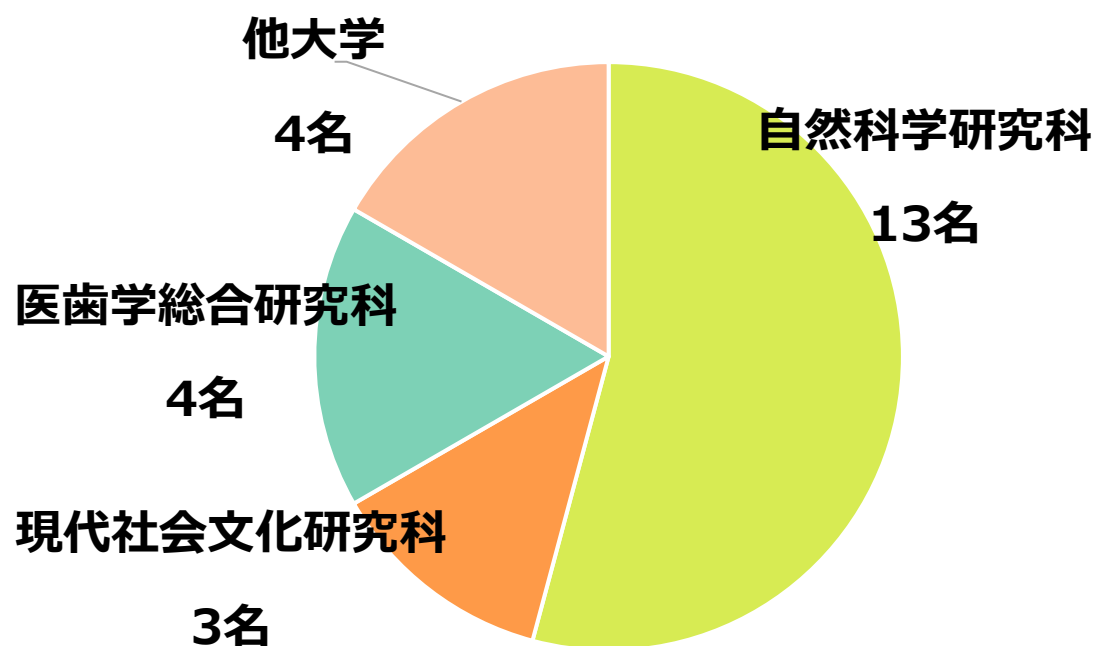
北川グレステック キッコーマン キリンホールディングス
グローバルウェーハズ・ジャパン 三栄源エフ・エフ・アイ
産業技術総合研究所 TDSE トクヤマ ナミックス
日本入試センター 村尾技建 Ridge-I レゾナック (敬称略)

アンケート回答者数 : 博士学生24名、企業22名

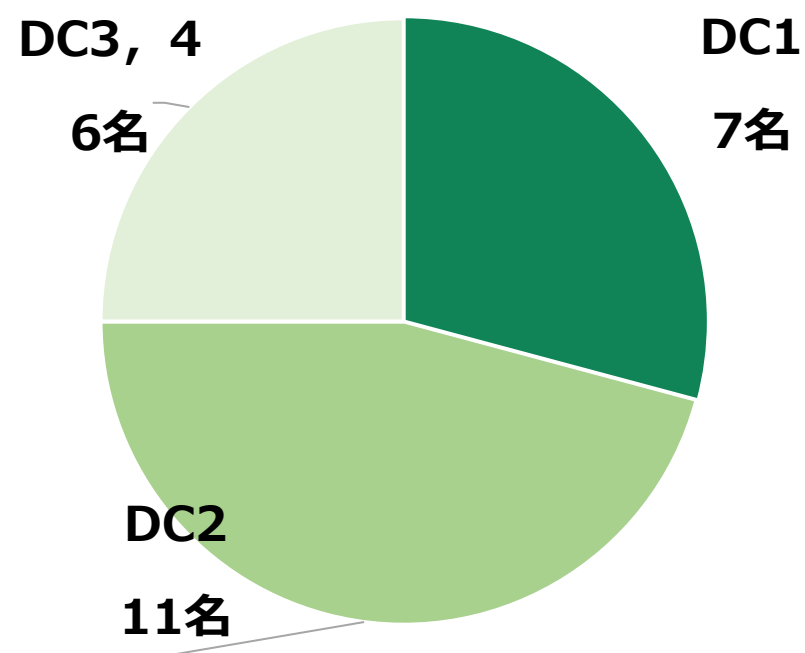
(参加者数 : 博士学生24名、企業31名 (13社))

1. 博士学生 属性

■ 所属



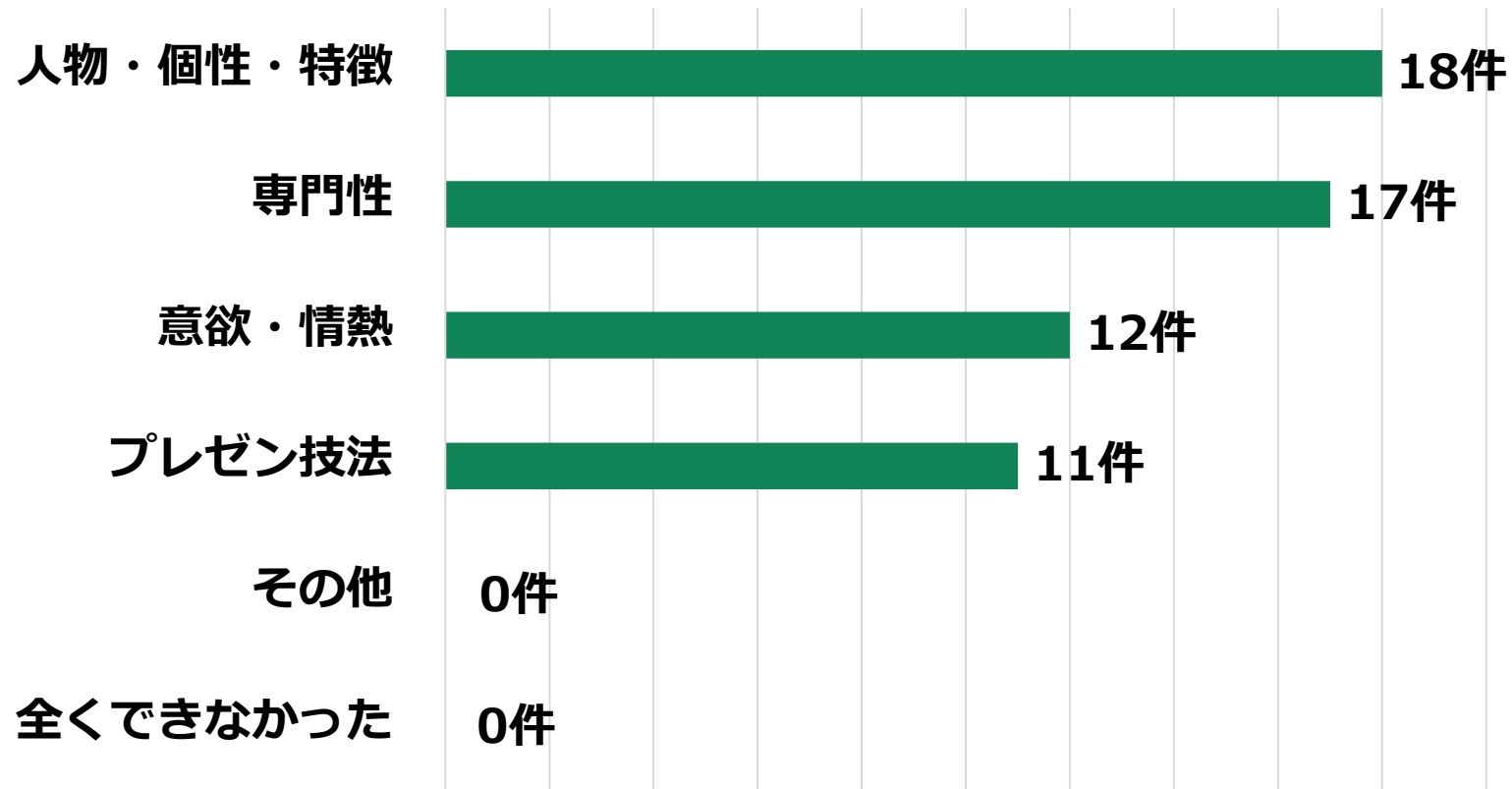
■ 学年



2. 博士学生

ポスター発表でアピールできた部分はどこですか。

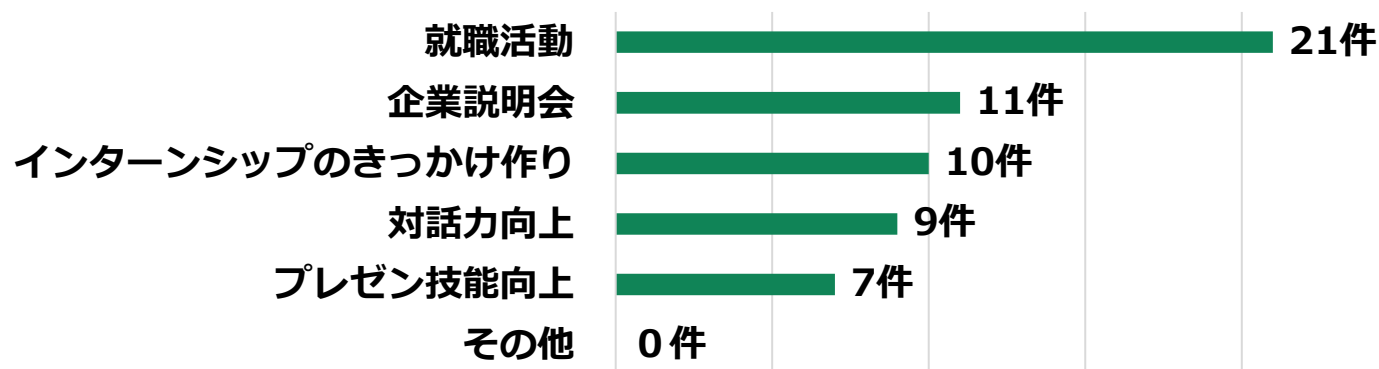
(複数回答可)



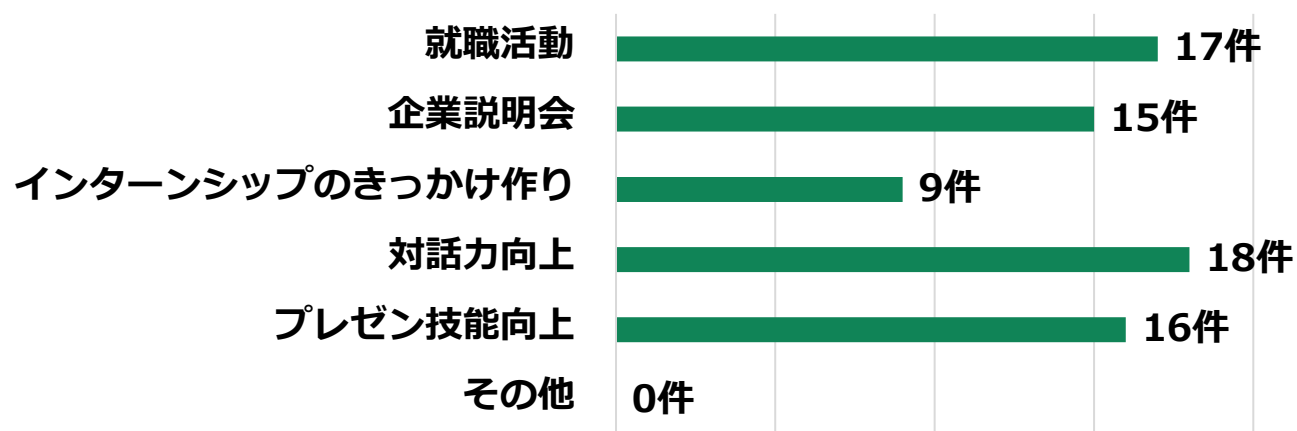
3. 博士学生

PhDリクルートフォーラムのイメージについて

■ フォーラム参加前（複数回答可）



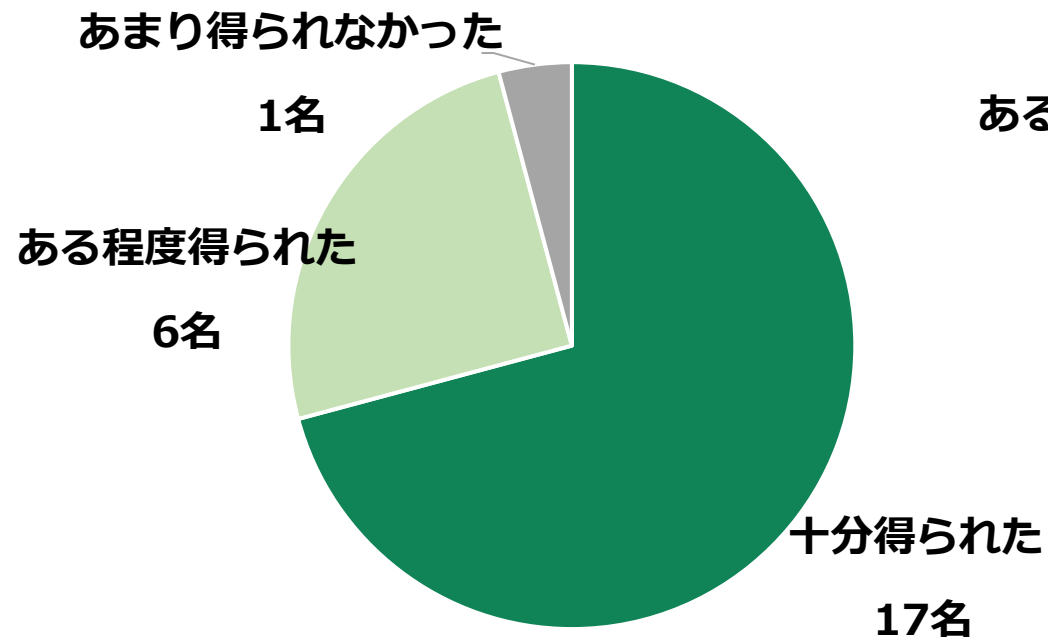
■ フォーラム参加後（複数回答可）



4. 博士学生・企業共通

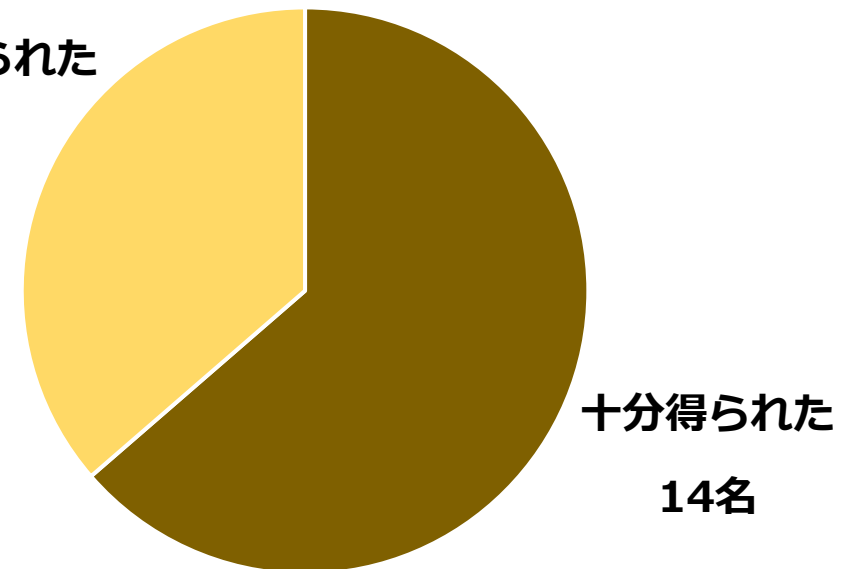
フォーラムを通して有益な情報を得られましたか。

■ 博士学生



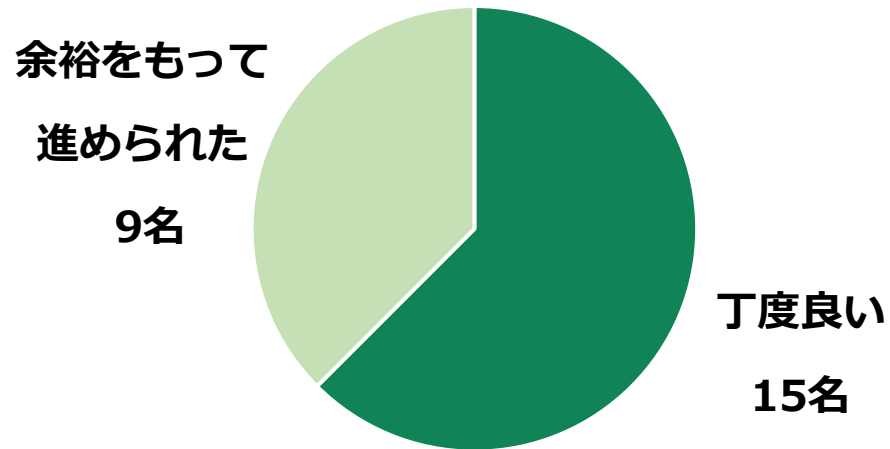
■ 企業

ある程度得られた
8名

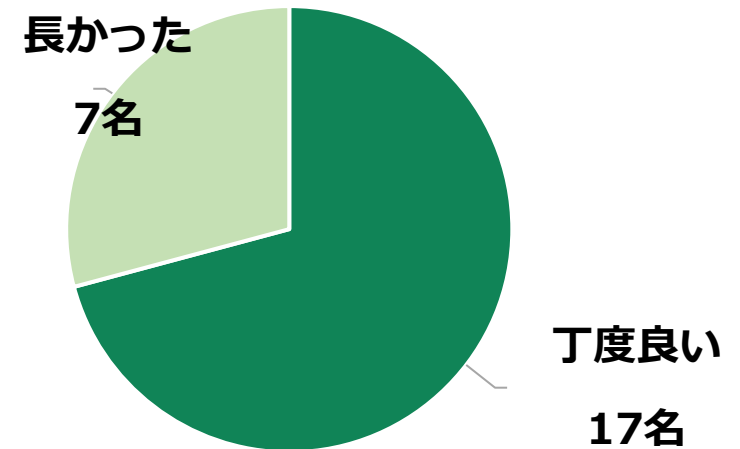


5. 博士学生

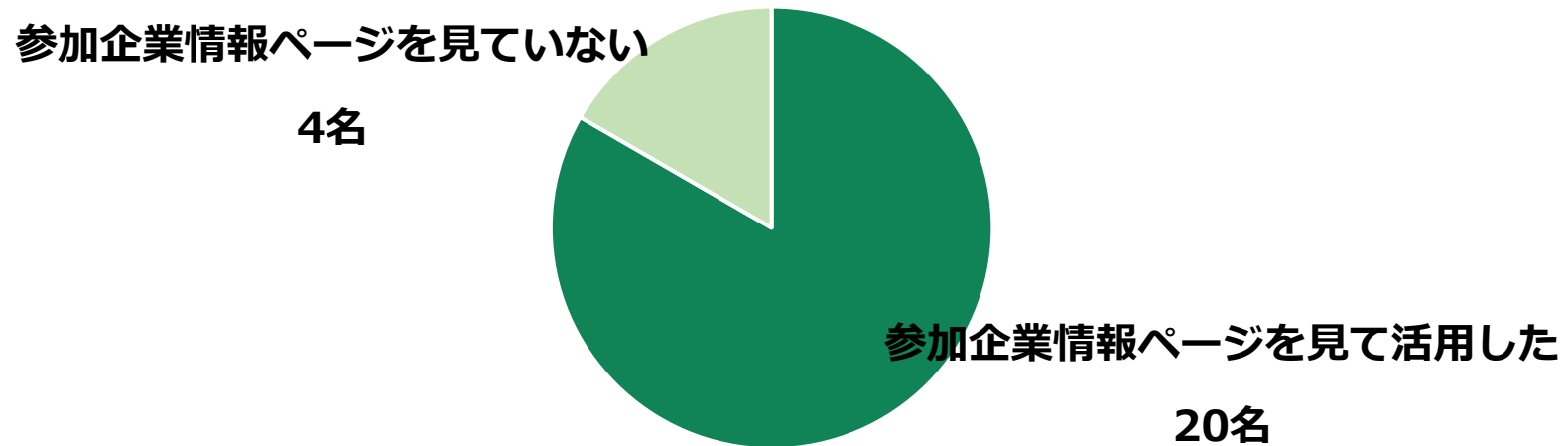
■ 事前準備期間について



■ 当日のスケジュールについて



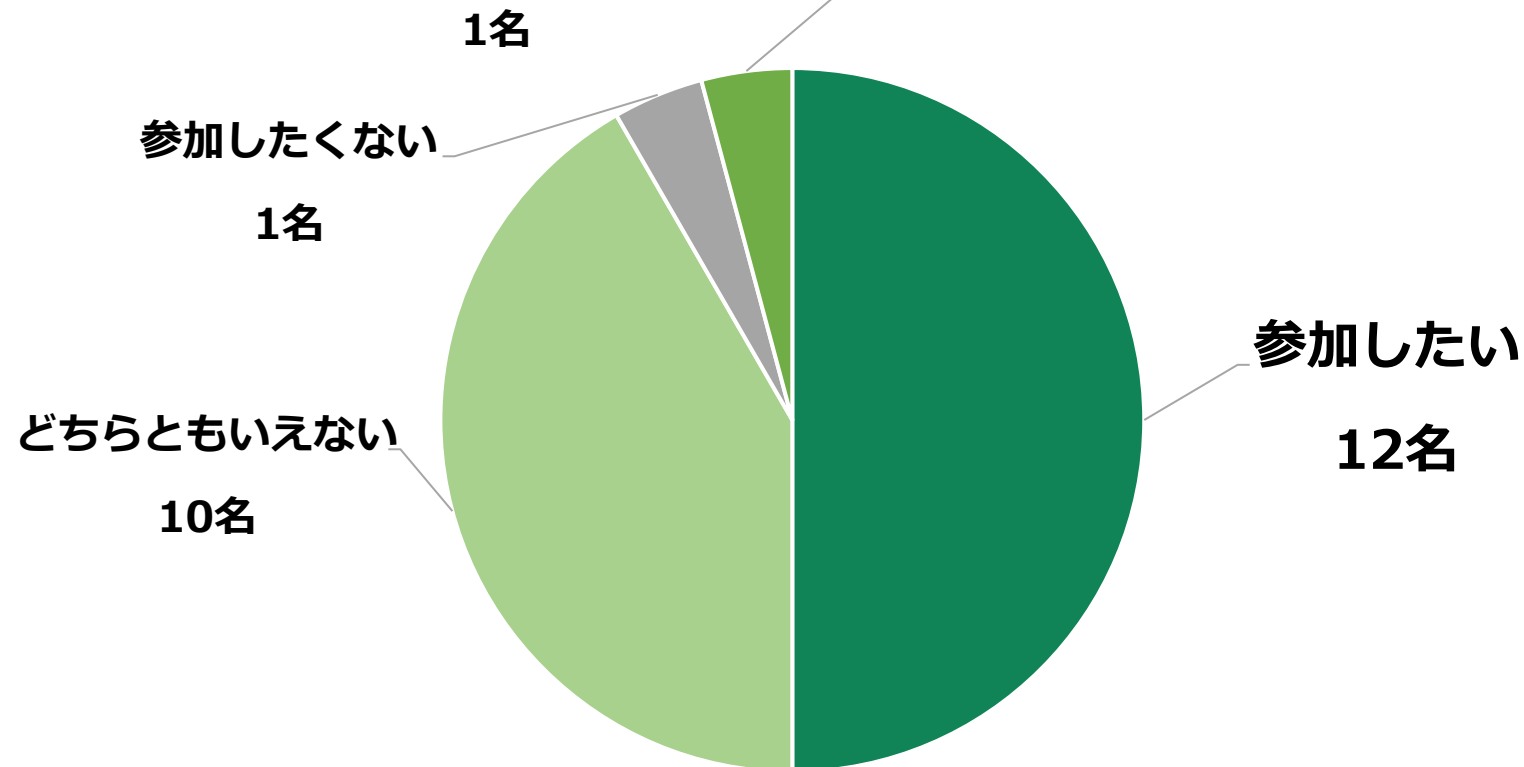
■ 参加企業情報ページの利用について



6. 博士人材

博士人材育成コンソーシアムの取り組みで、所属大学以外で実施している本イベントのようなマッチングイベントについても参加が可能です。
他大学のイベントにも参加したいですか。

(他大学の方) 再度新潟大学のイベントに参加したい

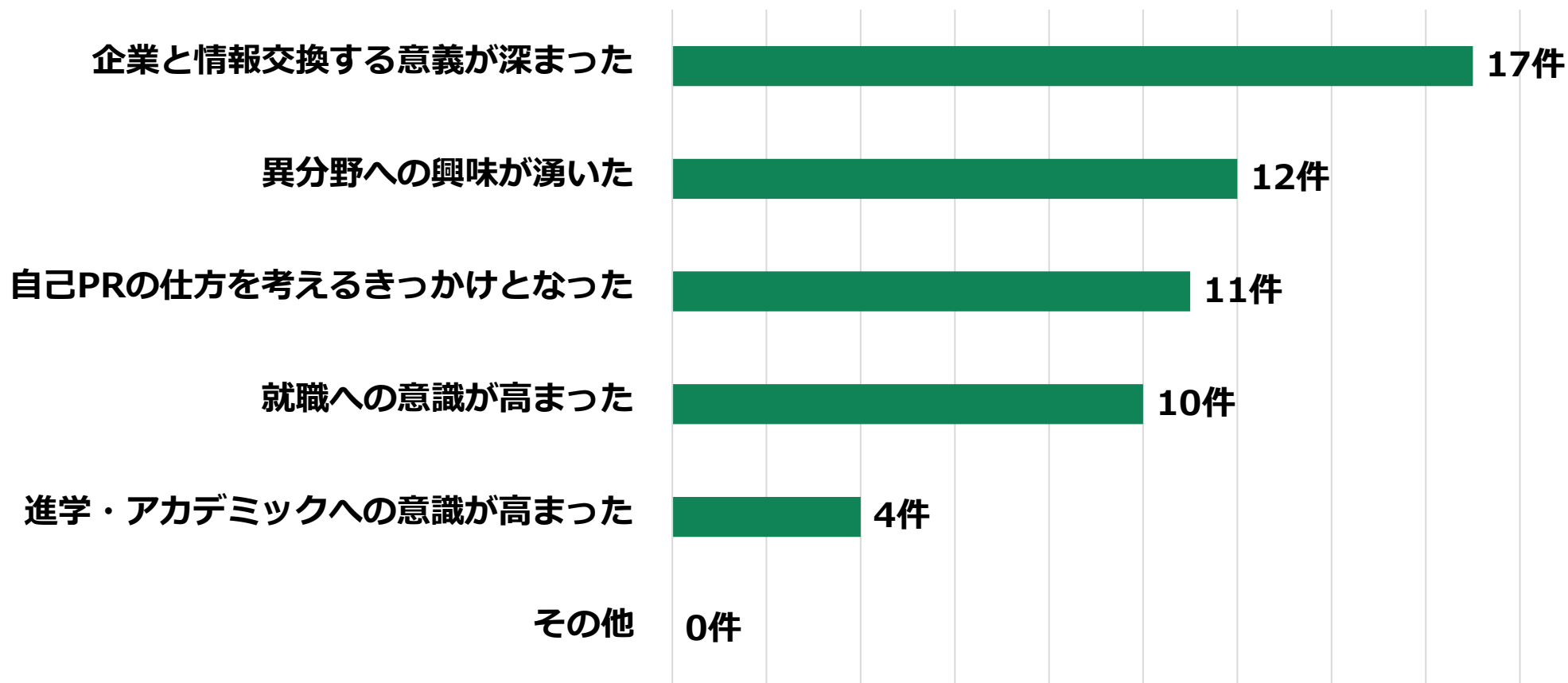


7. 博士人材

意識の変化について

PhDリクルートフォーラムを通して、意識の変化はありましたか。（複数回答可）

24件の回答



8. 博士学生

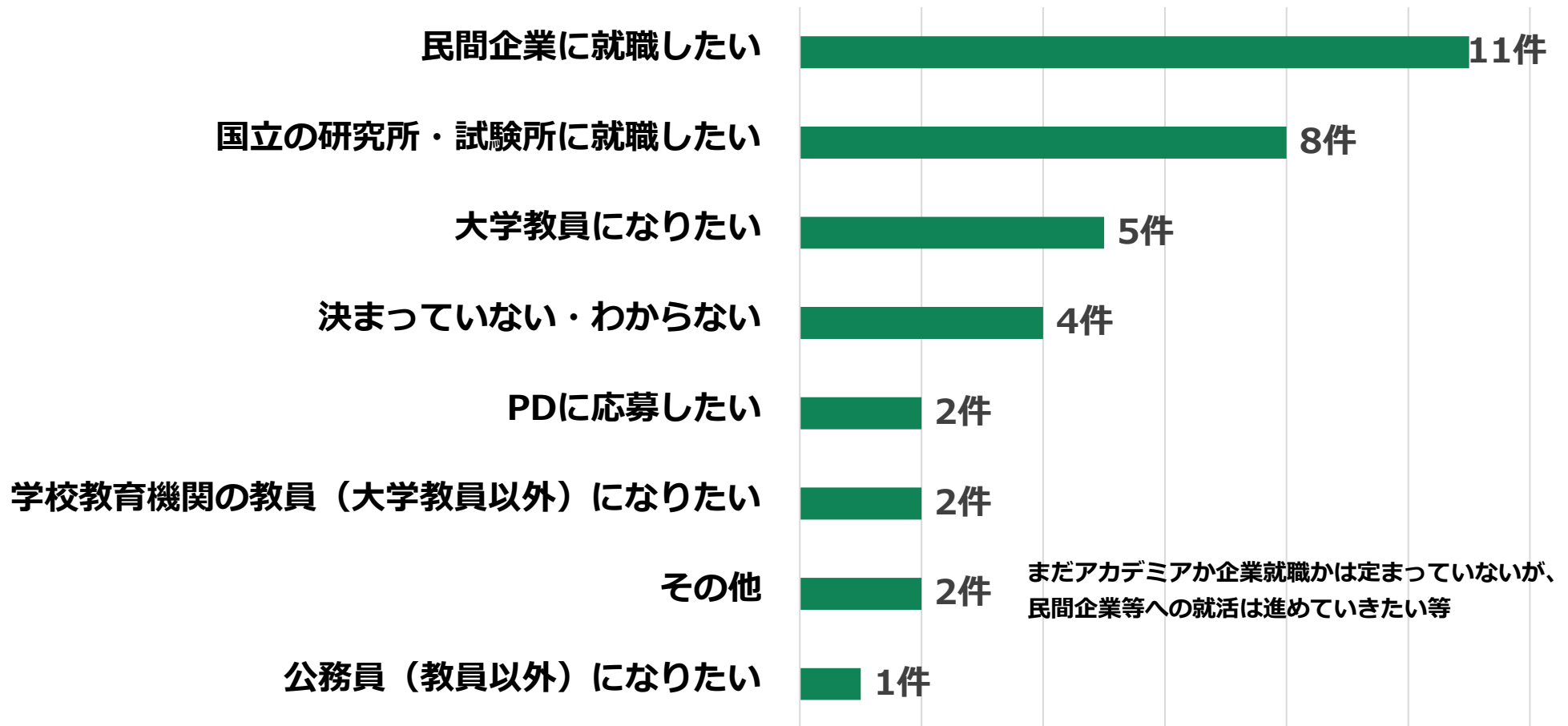
PhDリクルートフォーラムに参加をして新たな気づきがありましたか。

- プレゼン力、対話力において、特に自己PRのような短いスピーチでは、簡潔かつ分かりやすく伝える能力が、自身に足りていないなと気づきました。
また、こういった点で、他分野、他大学とのフォーラムのような場が、技術面以外の能力向上に結びつく貴重な機会であると感じました。
- 博士号取得者の方は就職された後でも、他者、他分野の研究に関心を持ってお話を聞いてくださるということ。
- コミュニケーション力は就活で有利に働くこと。
- 前回の参加も踏まえてにはなるが、幅広いバックグラウンドを持つ博士も求めていることがわかった。
- 自身が思っていたよりも、自身の持つ能力は社会に広く活かすことができることに気づきました。
- PhDリクルートフォーラムを通して、研究といえば「大学」というイメージが覆り、企業もさまざまな研究開発に取り組んでいることを知ることができた。
- 地元の企業でも、博士学生を必要と考えている企業がいたことには驚きました。
- 博士課程で身につけたジェネリックスキルがどの企業でも求められていること。

9. 博士人材

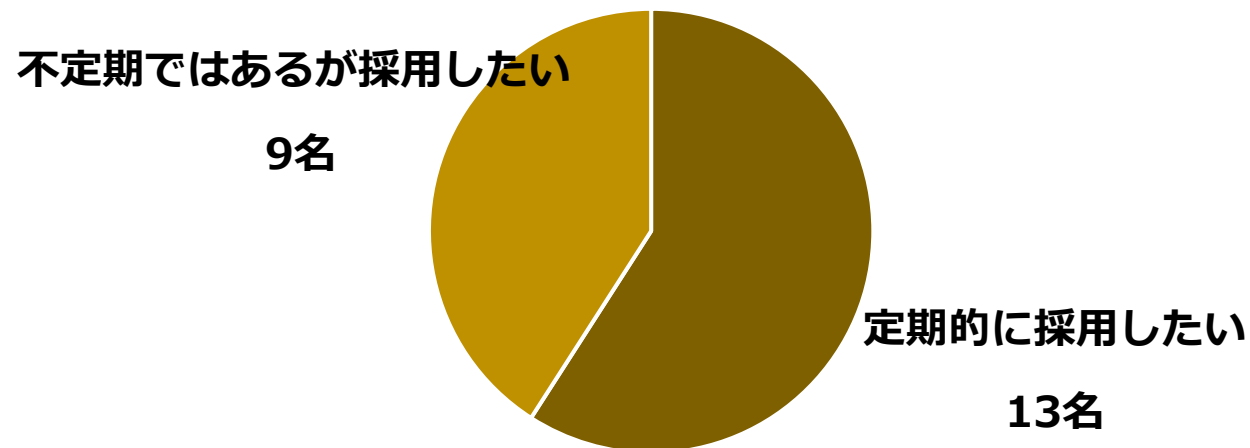
あなたは今後のキャリアパスをどのように考えていますか？

(複数回答可)

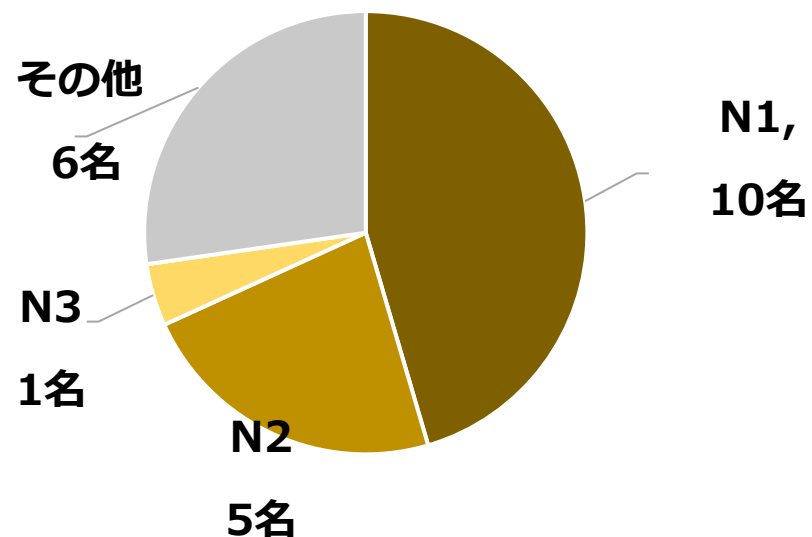


10. 企業

■ DC・PDの採用について



■ 外国人博士人材が応募する際に必要な日本語レベル



【その他】

- ・基本的に研究所は日本人以外の採用がない。
- ・現時点で積極的な採用を行う準備が整っていません。
- ・今のところはN1でも受け入れは難しいです。
- ・日本語能力試験の認定は必要としていませんが、日常的な場面で使われる日本語を理解し、話せる能力があるとより良いです。

11. 博士学生

全体を通してPhDリクルートフォーラムについてのご意見、ご要望など記入ください。

- 企業との情報交換の前に休憩が欲しかった。
- 昼食の前に企業トークがあった方が良かったと個人的には思うが、時間の都合上難しいとも感じたのでプログラムの順番としてはベストだと思う。
- どれも丁度よく、今回からの試み(学生の自己紹介、企業トークの長さ、昼食時間の短縮、情報交換会)も非常に有効だったと感じました。特に、企業トークが2.5分と長かったため、ブースでは各企業様が自由に製品紹介や各学生に合った研究紹介をしてくださり、Webイベントではできない話ができたと感じました。
- 全体として、とても満足のいく内容であった。
強いていうならば、企業トークに関しては時間を越えてしまう企業が多かったと感じる。スライドを用意していただくなれば時間はもう少し取った方が良いと思うし（超えたまま続けていると場合によってはマイナスイメージになりかねないので）、150秒にするならば学生PRと同様の形式で企業の方からもっと簡単にお話ししていただいても良いかもしれないと感じた。
などと書かせていただきましたが、大変意義深いイベントで、とても満足しています。ありがとうございました。
- ポスター発表の時間が短くなるのも良くないが、企業との個別交流はもう少し回数があると他の企業の説明もより聞けたと感じた。

12. 企業

全体を通してPhDリクルートフォーラムについてのご意見、ご要望などを記入ください①

- 博士人材の自己紹介があったのはよかったと思います。企業トークも昼食前の方がありがたいと感じております。
- 昨年以上に博士学生が楽しそうに自らの研究を発表していたのが印象的です。今後の研究の成果が実りますよう祈念したいと思います。
- ポスター発表では博士人材の考察の深さやアプローチの思考の違いが表れており、個人を見るという点で良かったと思います。
全体的に不満点もございません。
- ポスター発表で交流し興味をもってくださった学生さんと、ランチ交流にてフランクにコミュニケーションをとることができました。駅前のホテルで実施していただき、アクセスがよく、ブースも広く、東京から参加するのにとても便利でした。ありがとうございました。
- とてもスムーズに進行しておりよく練られた準備と段取りと思いました。学生と企業の人数がちょうどよく、およそ半分の学生と何らかの交流を持てました。事前に早めに学生PRを共有してもらったので、所内で採用希望の部門とのマッチングを考える時間がありました。一方で、矛盾するようですが、博士学生の準備の負担も相当なのではと感じました。採用意欲の高い企業とのマッチングが実現すれば有益ですので企業や教員の理解が重要だと感じました。

12. 企業

全体を通してPhDリクルートフォーラムについてのご意見、ご要望などを記入ください②

- プログラムの順番：学生さんのポスターを聞き、人となりを理解してから昼食～個別交流に臨める点では、ちょうどよい順番かと思いました。
- ポスターセッションは十分な時間があり思ったより多くの学生の話を知ることができた。そのため当社の採用要件とは離れているように感じていた学生の研究も何うことができ、自分自身視野が広がった。情報交換会はカジュアルな雰囲気の中で学生の皆さんも緊張がほぐれた中で対話できたことが非常に良かった。
- 個別交流/マッチング：1コマ20分は、実際に話すとあっという間に終了してしまった印象でした（全ての回で終了チャイムいっぱいまで会話が続いたため）。1コマの時間を延ばしてもよいとも思いましたが、多くの学生さんとの交流機会を創出し、テンポよく運営する点では、1コマ20分がちょうどよいかもしれませんね。学生さんの人数を1回あたり2名に限定された点は、より密な対話ができ良い点だと感じました。
- 企業トークの長さ（2分間）はちょうど良いと思いました。運営も丁寧で安心して参加できました。
- 企業トークはかなり短い時間でしたので、もう少しお時間あると嬉しいです。プログラムの順番としては、最初に企業トークで各企業担当者の顔が分かると、学生の皆さんもプレゼンしやすいように感じました。
- 就職を考えていない学生も何名かいらっしゃいました。企業にとってこのような学生への対応に躊躇しました。
- 昼食時に隣の方と1:1で話すことはできましたが、もう何人かと話したかったので、例えば何人かのグループを作って話せたらいいかなと感じました。

13. 企業

今後、博士人材へ期待すること、ご要望などをご記入ください①

- 世の中の流れをよく観察し、その流れに乗るのではなく、それを動かす発想とそれを実現する手腕。外(学外、国外、分野外)の考えを理解し受け入れて取り込む力。
- 考える力、研究マネジメント力など今の修士はかなりレベルが低下しているので、自発的に考えられる人材がいるのではないかと期待している。
- 今回も文系博士にお会いできて非常に有益でした。もっと多くの文系博士に出てきていただきたいと思います。
- 専門性を突き詰めるのみならず、社会への応用をさらに意識してください
- 課題に対して多角的に考えられる人材であることを期待します。
- 博士を目指す皆さんの研究に賭ける情熱や熱意、能力の高さ、そしてコミュニケーション能力の高さに感動しました。社会をはじめ企業側ももっと博士人材について知ることが必要であると感じました。大学をはじめ、博士課程の学生の皆さんも、もっと社会にアピールしてください。
- 博士に期待することは、博士課程での経験で養われてきた「探究心」「粘り強さ」「課題解決力」「創造性」を弊社の事業の推進力となっただき、社会へ貢献することを期待しています。
- めげず、あきらめず研究を続けてほしいと思います。
- 修士を出て我が社に就職した社員で、希望者がいれば社会人ドクターコースへの挑戦をさせても良いと思った。

13. 企業

今後、博士人材へ期待すること、ご要望などをご記入ください②

- 「広く浅く」興味を持ちながら課題を設定し、「深く論理的に」考えながら物事を実行し考察する力を大事にしてほしいと思います。社会にでると、博士課程で身に付けた専門性がそのままライフワークになることよりも、学際的に様々な課題に取り組むことがはるかに多くなります。専門知識やスキルそのものよりも、それらを学ぶ過程で得た「考え方や行動力」を活かして、課題解決の中心選手になってくれることを期待します。
- 専門性が高く、他分野の研究者と共同研究のできるコミュニケーション能力があると良いです。
- 研究以外の社会課題にも関心を持っていただけると、当社のようなビジネスでは入社後の成果発揮が早くスムーズであると思います。
- AIを活用する人も増えて来たと感じますが、先々は全員が基本スキルとして使えるくらいになったほうがいいと思います。「データが少ないので。。」と言っていた方もいましたが、データを取る戦略をAIにアシストしてもらうこともできます。生成AIを含め、AIの活用、データサイエンススキルを博士人材には身につけてもらい、それを自身の研究の発展、課題解決にフルに活用できるようになると、高度な研究者が増えていくのではないかと感じました。
- 高い専門性と柔軟性（論理的思考力等）を期待しています。